

さんSUNひろば

Vol.31

北海道看護協会 札幌第3支部

Contents

・事業報告

・支部事業 今後の予定

事業報告

看護の日健康フェア

主催：札幌第3支部役員



令和6年6月22日(土)ラソラ札幌Btown1階エスカレーター付近において、札幌第3支部役員主催の「看護の日健康フェア」が開催され、人体模型展示、血圧測定、体重・体脂肪チェック、血管年齢チェック、脱水チェックが行われました。

『看護の心をみんなの心に』とバックプリントされた、北海道看護協会のカラフルな法被を着て、優しい声掛けに、老若男女問わず80名以上の方が足を止めて下さり大盛況でした。

週末とあって店内も人通りが多く、フェアに訪れた方々に健康の関心を

持っていただけたのではないのでしょうか。人体模型は怖がるお子様もいましたが、人気があり触って人体の仕組みを見て、将来看護職への関心を持ち、未来の人材確保のきっかけになると嬉しいかぎりです。このようなイベントが開催できるようになり、多くの方と笑顔で接することのできる世の中になってきたことを感じました。

札幌第3支部役員の皆さまお疲れ様でした。

広報委員 金子雅隆 松田有希



事業報告

講演会「働きやすい健全な職場づくり」

主催：働き続けられる職場環境づくり推進委員会

令和6年7月6日(土)「働きやすい健全な職場づくり～いきいき働き、職場に活気をもたらすためのメソッド～」というテーマで、一般社団法人 北海道ワークスタイルクリエイトの降幡 美冬先生を講師にお迎えしてACU札幌にて開催され、47名が受講されました。

優れたチームでは自分と相手を同等に尊重しながらも、自身の意見や気持ち適切に表現することが出来ている。それが良好な人間関係の構築、組織の生産性の向上に繋がる。自分も相手もOKなアサーティブコミュニケーションを心掛ける事が大切と講義がありました。講義終了前に



は、明日からできることを参加者同士が活発に意見交換を行いました。私も含め研修に参加された方も前向きな気持ちになり帰路についていた事と思います。

降幡先生、そして主催者である委員の皆様ありがとうございました。

広報委員 齊藤和恵 山田亜季

講演会「女性に対する暴力予防の支援」「授乳支援」

主催：助産師職能委員会

7月20日(土) 女のスペース・おん 代表の 山崎 菊乃先生を講師にお迎えして【ウイメンズヘルスケア能力】～女性に対する暴力予防の支援～というテーマで、研修会が開催され 会場(ACU-A)とオンラインで合計43名が受講しました。DVに関する基礎知識や DVがおこる原因、対象者へのスクリーニングの方法等、先生自身の体験談や実際の事例・実情を交えながら講義がありました。女性や子どもに対する暴力の根絶を目指すために、私たち医療者は観察の眼を駆使して、まずDVの兆候に気づくことが大切であると学びました。そして、関係機関に情報提供を怠ることなく連携していくことの重要性を強く感じました。講義のあとは、会場とオンラインそれぞれグループワークで、実際にあった事例に対しての対応方法について話し合いました。各グループ活発な意見交換がなされ、改めて医療機関の役割についての理解が深められたと思います。



午後はCloCMip @関連研修 必須研修の授乳支援についての研修会が、マミーズクリニックちとせの看護師長である佐藤 江利子先生をお迎えし開催されました。(受講者72名)母乳育児に関しては、妊娠期の段階で幸せな授乳風景をイメージできるよう支援が必要です。近年では、母乳育児を選択する方が減っているようで、これにはパパにミルクをあげてもらいたいと思っている人が増え、いらないミルクを与えている現状があるようです。パパには育児ではなく家事の分担することを伝え、母乳育児の支援を行っていくことが大切ではないかと講義でお話がありました。助産師の役割として、母親の気持ちをよく聞き、揺れ動く気持ちを受け止め、正しい情報を伝え、支え寄り添うことが大切であると思いをとお伝えしていました。

事例や経験をもとに構成された講義内容でした。質問に図を描いて説明をしたり、具体的でわかりやすく、うなずいている受講者が多かったのが印象的でした。

講師の皆様、主催された助産師職能委員の皆様、お疲れさまでした。

広報委員 山田亜季 松田有希



事業報告

研修会「防災の基本知識と災害時の看護活動を考える」

主催：看護師職能委員会

7月27日(土)「防災の基本知識と災害時の看護活動を考える」～今この瞬間!!備えよう看護の力～が、アスティ45で開催され、42名が参加されました。

講演①では、伊達市総務部 危機管理課長 足立勇二先生の防災対策についての講演でした。防災の基本理念は、自助、共助、公助の三つです。そのために、自分は災害にあわないという思い込みがあり、避難が遅れる傾向があると話されていました。日頃から市の地域防災計画や避難指示の連絡方法を知る大切さを学びました。

講演②では、札幌徳洲会病院DMAT看護師 福永よしえ先生のDMAT看護師についての講演でした。2024年石川能登半島地震におけるDMAT活動での経験を動画、写真にて詳しく知ることができました。

災害時であっても看護師の役割は同じ、どの業務を優先するのかを学ぶことができました。質疑応答では、避難所についてや現場での被災者家族との関わり等が上がり、お互いを尊重しながら活動していたとの答えが印象的でした。2018年胆振東部地震でのブラックアウトを経験し、災害時の対応について当施設では、見直し、物資の補充などを行いました。これを機会に定期的に見直し、日頃からの準備が必要と感じました。

講師の足立勇二先生、福永よしえ先生、主催された札幌第3支部看護師職能委員会のみなさまお疲れ様でした。

広報委員 金子雅隆 種田有日子



研修会「在宅療養を支える看護」

主催：教育委員会

8月29日(木)札幌第3支部教育委員会主催「在宅療養を支える看護」が北海道看護協会で開催され、33名が参加しました。初めに札幌第3支部支部長鈴木千春さんから2024年度「看護の動向」の講義があり、看護協会の基本理念、方針、重点事業、組織について、今後の日本の人口推移、診療報酬改定、介護報酬改定などについて学びました。

恵佑会札幌病院畠山敦子先生と訪問看護ステーション 恵佑会杉下奈弥先生から退院調整の3段階プロセスの重要性や訪問看護の現状や、医療保険、介護保険の特徴を知ることが出来ました。退院前カンファレンスと看看連携では、事

例を基に医療・看護の課題と、生活・介護上の課題を細かく話し合う事で、患者・家族に合った支援を行えた
と紹介されました。午後からはグループに分かれ「在宅療養支援に関して自施設の現状と課題 よりよい支援につなげるための取り組みについて」グループワークを行い活発な意見が出されていました。各グループ発表では、他職種との連携、介護申請について知らない患者が多い、情報収集時の家族とのコミュニケーション不足、システム上の問題で情報共有が出来ていない、などが挙げられていました。在宅支援を意識したケアについて学ぶ良い機会になったと思います。

講師の畠山敦子先生、杉下奈弥先生、鈴木千春支部長、札幌第3支部教育委員会の皆様お疲れ様でした。

広報委員 金子雅隆 佐藤大樹



札幌第3支部事業 今後の予定

札幌第3支部管理者懇談会

日程：2024年10月5日(土)
場所：ANAクラウンプラザホテル

看護研究発表会

日程：2024年11月9日(土)
場所：ACU札幌
主催：教育委員会

「心と体の健康を保つための ストレッチ」

日程：2024年10月12日(土)
場所：厚別区民センター
主催：働き続けられる職場
環境づくり推進委員会

「看護でつながる情報共有の 在り方」

日程：2024年11月
場所：未定
主催：看護師職能委員会

「ケアラーを取り巻く課題と これからを考える」 ～家族を丸ごと支援する 視点を学ぶ～

日程：2024年10月26日(土)
場所：TKPガーデンシティ
札幌駅前ホール
主催：保健師職能委員会

医療安全交流会

日程：2025年1月
場所：未定
主催：医療安全特別委員会

札幌第3支部大会

日程：2025年2月22日(土)
場所：ホテルエミシア札幌

第3支部の事業へ、みなさんの参加をお待ちしています。

編集後記

第3支部の事業を取材しみなさまへ情報を発信する内容でVol31をお届けしました。取材した事業のほかにも各委員会により多数の研修等が開催され、今後も開催予定となっています。ぜひ会場にお越しいただき新たな学びを得ていただきたいと思います。

そして早くも今年度も後半に突入しますね。季節が移り変わる時期、体調の変化もきたしやすくなります。どうぞご自愛いただき、みなさまのご活躍を願っています。